

つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE
事業報告書
2020 年度

～全国に広がる感謝の輪～



LOVE
BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ～地球の未来を～」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるのすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいりたいと考えています。

「LOVE BLUE ～地球の未来を～」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を3つの優先事項とし活動してまいります。

LOVE BLUE 事業報告書 2020 年度

～ 全国に広がる感謝の輪 ～

目次

I （一社）日本釣用品工業会 2020 年度事業報告書

II （公財）日本釣振興会 2020 年度事業報告書

III 参加企業一覧

IV 2020 年度事業収支報告書

巻末 松下和夫 京都大学名誉教授



(一社) 日本釣用品工業会 2020年度事業報告

- ・ LOVE BLUE TOPICS
- ・ 水中クリーンアップ活動
- ・ 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成
- ・ 専門機関と連携した放流事業
- ・ 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

LOVE BLUE TOPICS

鹿児島県 塩田康一 知事へ表敬訪問

～錦江湾へのマダイ種苗生産・放流 三十一万五千尾（三箇年）・

LOVE BLUE 事業 実施協力への御礼に～

2021年3月24日 鹿児島県知事室

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の優先三事業の中で、専門機関と連携した放流事業は（公社）全国豊かな海づくり推進協会を通じて、2018 年度から全国へ事業協力の依頼を行っています。鹿児島県では（公財）かごしま豊かな海づくり協会から LOVE BLUE 事業としてマダイ種苗生産、放流実施を行いたいとのご要望をいただき、2018 年度から 2020 年度まで、鹿児島県内遊漁船団体の皆様などのご協力もいただきながらマダイの放流を実施しています。

また、水中クリーンアップ活動についても鹿児島県からのご理解とご協力を頂くと共に、鹿児島県漁業協同組合連合会からのご要望をもとに 2016 年から実施を続けています。

これを受け、2021 年 3 月 24 日、鹿児島県での LOVE BLUE 事業実施へのご協力の御礼と今後のさらなる関係構築に向け、（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長（同会顧問）らが、鹿児島県 塩田康一 知事への表敬訪問をはじめ、中村かおり 副知事（当時）並びに、（公財）かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長へ訪問を行いました。

この日、（公財）かごしま豊かな海づくり協会は鹿児島県水産会館にて理事会を開催さ



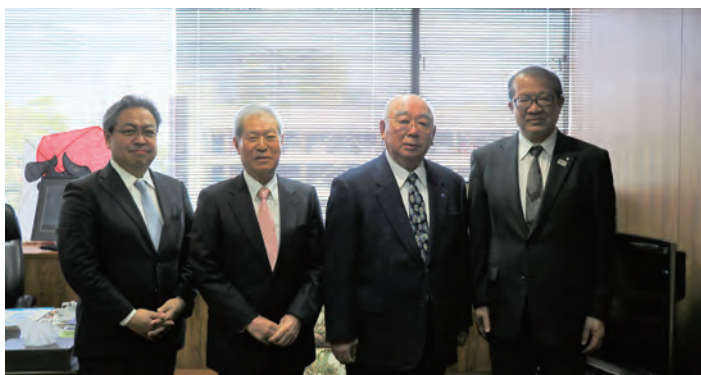
中央 塩田康一 鹿児島県知事、中央右 前田かおり（公財）かごしま豊かな海づくり協会 事務局長（当時）

中央左（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 専務理事 小松智昭、最左 同会 理事 柿沼清英

LOVE BLUE TOPICS

(公財) かごしま豊かな海づくり協会理事会

2021年3月24日 鹿児島県水産会館



右から (公財) かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、同会 理事 柿沼清英

れ、その席上、小島委員長から「LOVE BLUE 事業の目的は、自然環境の保全・持続が根底にあり、水中清掃活動から歩みを始め、放流事業にも取り組ませて頂いております。魚族資源は化石燃料とは異なり海洋環境保全や資源増殖などの努力を重ねることで豊かな恵みとしての持続につながります。その一助として、鹿児島県で LOVE BLUE 事業

をご活用いただいたことへ心より御礼申し上げます。」と挨拶がありました。

鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長からは、「豊かな海が大事です。長く漁師をやっているので資源が少ない実感があり、鹿児島でのマダイ放流は本当にありがたい。心から感謝しています。」との御礼があり、(公財)



右から塩田康一 鹿児島県知事、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長

かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長からも「鹿児島ではマダイは豊かな海の象徴です。また機会がありましたら、是非、鹿児島県でのマダイ放流を LOVE BLUE 事業で支援して頂きたい。」とのご要望がありました。



終始、和やかな懇談となりました。

また同日夜刻、鹿児島県庁知事室にて、塩田康一知事へ、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE

LOVE BLUE TOPICS

鹿児島県 中村かおり 副知事（当時）へ表敬訪問

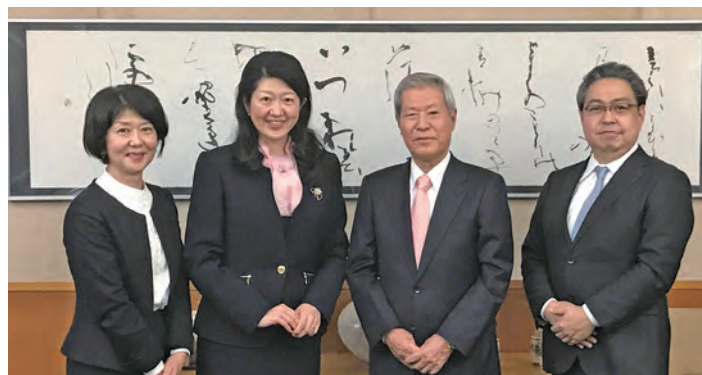
2021年3月24日 鹿児島県庁副知事室

委員長と同会 小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事が表敬訪問を行いました。

冒頭、小島委員長は「本日は大変お忙しい中、このような機会を賜り誠にありがとうございます。私どもが社会貢献事業として取り組む LOVE BLUE 事業を鹿児島県内ではプロダイバーによる水中クリーンアップ活動と共に、錦



中央 中村かおり 鹿児島県副知事（当時）、左 前田かおる（公財）かごしま豊かな海づくり協会 事務局長（当時）
右（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



中央左 中村かおり 鹿児島県副知事（当時）、最左 前田かおる（公財）かごしま豊かな海づくり協会 事務局長（当時）、中央右（一社）日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 柿沼清英 理事

江湾内へのマダイ放流をご活用頂き心より感謝致しております。」と話し、併せて、釣り人の皆様が釣り用品を購入いただいた売り上げの一部を財源として、釣り界を挙げての取り組みであることや、これまでの鹿児島県内での放流実績などの報告を行いました。

塩田知事からは、鹿児島県内での LOVE BLUE 事業実施への御礼とともに、2020 年度の放流現地に訪れたこと、自主財源での実施や漁港や港湾等での清掃活動へも関心が示され、釣りについても「今年も行ったんですが釣果が振るわず、漁師にはなれませんね（笑）」など、終始和やかな懇談となりました。

その後、中村かおり副知事との懇談の機会があり、中村副知事からは「本日のようにご来訪頂くことで、県としても県内からの視点ではなく、外から見た鹿児島の価値を再認識する機会となります。その意味でもご来訪頂き心から御礼申し上げます。是非ともまた鹿児島県を宜しくお願い致します。」との感謝のお言葉をいただきました。

これからも、LOVE BLUE 事業は釣りの未来を拓くため、全国各地の皆様に喜んで頂けるよう、着実に取り組みを進めて参ります。

LOVE BLUE TOPICS

環境省主催 エコライフ・フェアに出展

2020年12月19日～2021年1月17日 バーチャル

LOVE BLUE 事業は、毎年環境の日（6月5日）の近辺の土曜日及び日曜日に東京都渋谷区の代々木公園にて、環境省が主催する、エコライフ・フェアに2015年から毎年出展しています。本年度は新型コロナウイルスの影響でバーチャルでの実施になりましたが、「つりの楽しさが広がることで水辺環境の向上につながります」をテーマに、これまでの社会貢献活動としての実績をPRしました。



94,991PV と、とても多くの方に見て頂くことができました。

水中クリーンアップ活動 沖縄県 読谷村漁業協同組合と連携

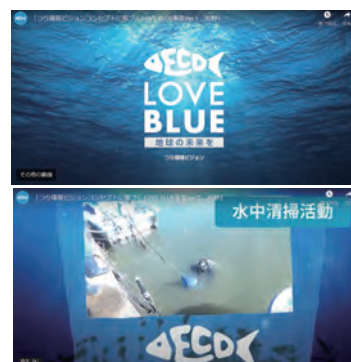
2020年12月1日～3日 都屋漁港水中清掃実施

12月1日から3日まで沖縄県読谷村都屋漁港で行われたプロダイバー水中クリーンアップ活動は、初日に読谷村漁業協同組合の陸上清掃、翌日には同組合主催の「ピクニック」というイベントと連携して実施いたしました。このイベントは毎月第3日曜日に開催され、高校生以下は無料で食事が出る他、ウミガメに触れられる体験等もあり、地元の方のみならず、沖縄県下の方々が集まるイベントです。イベント当日は沖縄県漁業協同組合連合会の職員の方も視察にお越しいただき、水中クリーンアップ活動に対して、とても温かいお言葉をいただきました。



LOVE BLUE 事業周知広報

2020 年度は YouTube CM はじめ、朝日新聞・読売新聞の全国版一般紙の朝刊に小型広告を3回掲載致しました。来年度も多くの方にご理解いただけるよう、YouTube CM と朝日新聞・読売新聞などで周知広報を実施して参ります。

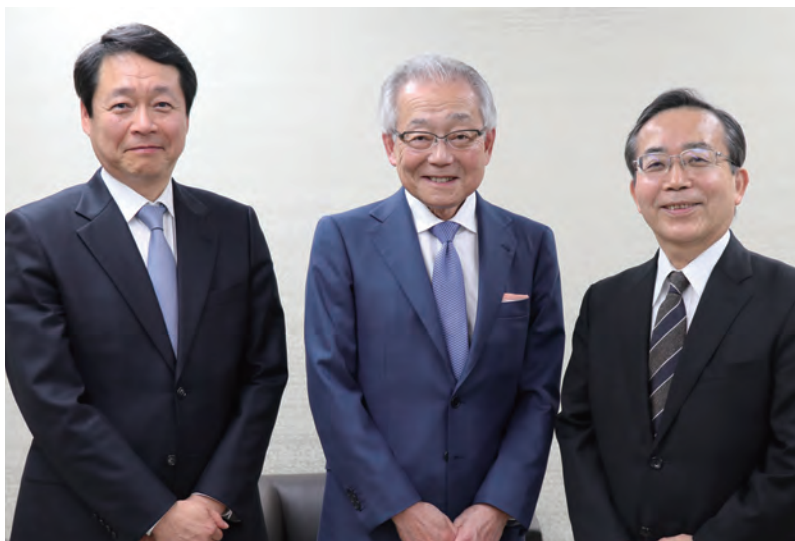


LOVE BLUE TOPICS

～ 2019 年度環境系トップリーダーとの鼎談～

2019年12月12日 (株)シマノ本社

2019 年 12 月 12 日 (木)、水辺の環境保全活動を社会貢献事業として釣り界を挙げて取り組む、つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の周知広報の一環として、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 小辻智之 理事長と京都大学 松下和夫 名誉教授と一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三会長による「LOVE BLUE 世界に誇れる水辺環境の保全」とのテーマでの鼎談（三社対談）が行われました。



(左から：独立行政法人環境再生保全機構 小辻智之理事長、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三会長、京都大学 松下和夫 名誉教授)

2019 年度までの表敬訪問 原田義昭 環境大臣（当時）へ表敬訪問

2019年6月20日 環境省環境大臣室

原田 環境大臣からは、2013 年度から 7 年目となる、全国各地の水辺の環境保全に取り組む当事業の実績に対して「国内全体へ、細やかに取り組まれている、素晴らしい事業ですね」と評価いただきました。

また、(独法) 環境再生保全機構・地球環境基金 企業協働プロジェクト 第一号として創設し、2015 年に望月義夫環境大臣（当時）からも感謝状をいただいた「LOVE BLUE 助成」が、全国各地で水辺の地球環境保全に取り組む NGO・NPOなどを支援していることについて、改めて感謝の言葉をいただきました。



左から：大村一仁 副会長、松下和夫 理事、原田義昭 環境大臣（当時）、島野容三 会長、小島忠雄 顧問、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事

LOVE BLUE TOPICS

2019 年度までの表敬訪問 環境省表敬訪問

2017年1月20日 環境省事務次官室

LOVE BLUE 事業が取り組む社会貢献事業について、これまで積み重ねてきた実績等をご説明するため、2017 年 1 月 20 日金曜日、環境省へ表敬訪問を行いました。

島野会長より、「当初は釣り場の清掃から始めた事業ですが、今では LOVE BLUE 事業として、例えば全国の各自治体を通じて、各地の皆様からプロダイバーによる水中クリーンアップへのご要望をお寄せ頂けるようになるなど、多くの皆様に喜んで頂ける社会貢献事業となって参りました。昨年(2016 年)の G7 伊勢志摩サミットでもプロダイバーによる水中クリーンアップ活動をお役立て頂くなど、様々な ご要望にお応えしております。LOVE BLUE 事業は、参加企業が全ての釣用品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部を自主財源として取り組んでいるものです。これからも御省と連携しながら地球環境のためにより一層努めて参りたいと思います。」と当事業について説明を行いました。



中央：小林正明環境事務次官(当時)、左から松下和夫京都大学名誉教授、大村一仁副会長、島野容三会長、小島忠雄顧問

2019 年度までの表敬訪問 水中クリーンアップ活動 環境保全活動に大きく貢献 環境大臣から感謝状

2015年6月10日 環境省総合政策局長室

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の皆様一人一人の力を合わせて展開する LOVE BLUE 事業は、2015 年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地球環境基金 企業協働プロジェクト」の第 1 号「つり 環境ビジョン助成」をスタートさせました。

この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行う NPO・NGO 等の団体に対し、その活動を支援する 為の助成で、2015 年度は、全国 8 団体を支援しました。上記の事業を踏まえ、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である 6 月 5 日付にて、環境大臣より感謝状が発出され、そして 6 月 10 日(水)、LOVE BLUE 委員会小島忠雄委員長が代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長(当時)より授与されました。



右から、環境省総合環境政策局 小林正明 局長(当時)、小島忠雄顧問

2019 年度までの表敬訪問 水中クリーンアップ活動 大井川一彦 茨城県知事 表敬訪問

2018年9月28日 茨城県知事室

第 17 回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦 2018: 10/15 ~ 10/19)の開催を前に、釣り界が取り組む、LOVE BLUE 事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議での LOVE BLUE 事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内での LOVE BLUE 事業の推進をお伝えするため、(一社)日本釣用品工業会の代表が、大井川和彦茨城県知事へ表敬訪問致しました。

大井川和彦知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE 事業、水中クリーンアップ活動、本当にありがとうございます。素晴らしい事業です! 引き続き宜しくお願いします。」との御礼のお言葉をいただきました。さらに、霞ヶ浦の水質浄化や地域経済の発展など様々な話題で、終始和やかな懇談の場となりました。



左から、柿沼清英 理事、加藤誠司 副会長、島野容三 会長、大井川和彦 知事、大村一仁 副会長、小島忠雄 顧問。

LOVE BLUE TOPICS

2019 年度までの表敬訪問

木田久主一 鳥羽市長（当時）表敬訪問

2016年5月19日(木) 三重県鳥羽市役所市長室

2016年5月19日、G7伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、島野容三会長が表敬訪問しました。

G7伊勢志摩サミットへ連なる LOVE BLUE 事業の「格」

島野会長（以下会長）：サミット前の大変お忙しい時期にお時間を頂きありがとうございます。あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えて頂くことができました。我々といしましては、これまで LOVE BLUE 事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけて頂くことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。

釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長（以下市長）：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運び頂き、ありがとうございます。鳥羽は海女と真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにしていることに心から感謝申し上げます。

市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。



左から鳥羽市 木田久主 市長（当時）、
島野容三会長

2019 年度までの表敬訪問

石井裕 南房総市長 表敬訪問

2016年4月18日(月) 千葉県南房総市役所市長室

委員長：水中クリーンアップ活動の他にも、昨年度から「つり環境ビジョン助成」という活動を始めています。これは独立行政法人環境再生保全機構における地球環境基金企業協働プロジェクト第1号として始まったもので、水辺の環境保全を考える NPO など諸団体を全国規模で支援するものです。昨年度は、8団体を助成いたしました。その活動を評価頂き、環境大臣から感謝状を授与されました。市長：それはすごいですね。さまざまな活動をされている中で、私たちの南房総市を水中クリーンアップ活動の場として選んで頂いてうれしく思っています。水の中は自分たちでは、なかなか清掃できないので、プロのダイバーの方々に水中を清掃頂けるのは、とてもありがたいです。

市長：南房総市は三方を海に囲まれているので、多くの釣り人が訪れます。南房総市の観光シーズンは冬なのですが、釣り人の皆さんには年間を通して、楽しんで頂いているようです。



左から南房総市 石井裕 市長、
小島忠雄 顧問

2019 年度までの表敬訪問

中山一生 龍ヶ崎市長 表敬訪問

2017年5月12日(金) 茨城県龍ヶ崎市役所市長室

LOVE BLUE 事業は全国で喜ばれる事業

市長：我々龍ヶ崎市 はもちろんですけれども、LOVE BLUE 事業は全国できっと喜ばれる事業だと思いますので、是非頑張ってください。皆さんも喜ばれる事業だと思いますので、牛久沼も含めてよろしくお願いします。『LOVE BLUE』っていう事業が良いですね。さわやかな清潔なイメージで。今日は、かえってご丁寧にご来訪頂きましてありがとうございました。委員長：こちらこそ貴重なお時間を頂きありがとうございました。これからも茨城県下を含め頑張ってください。ご指導の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



左から龍ヶ崎市 中山一生 市長、
小島忠雄 顧問

水中クリーンアップ活動

～全国に広がる感謝の輪～

私たち釣り人は世界中の水辺から恩恵を授かっている社会の一員です。その豊かな水辺を守る活動の柱としての取り組みが、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動です。

LOVE BLUE では全国を7ブロックに分け、公平性や透明性等を踏まえ、都道府県や市町村、港湾管理者、漁業者等の皆様からご要望を頂きながら実施しています。

効率の良い作業や安全性の為、プロダイバーが実施する水中クリーンアップ活動では、陸上スタッフとの常時無線交信設備を装備しながら、万全の安全管理を徹底しながら作業をいまう。また、必要に応じて、法令に基づいた許可申請や周知等、地域のご関係先としっかりと連携しながら進歩し、回収したゴミは産業廃棄物として適切に処分しています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は 2013 年度の事業開始より 2020 年度に至るまで、8 年間累計 34 道府県 253 箇所 1009 日実施しています。

			2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度									
ブロック	都道府県	場所	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日									
			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	
<中部・北陸地方：19 日>			1	3	5	22.5	6	20	5	17	5	22	4	18	4	17	4	19	
中部・北陸	愛知県	三河湖	1	3															
		入鹿池			1	5	1	5	1	5	1	3							
	富山県	六波寺海岸			1	4	1	3	1	3									
		黒部漁港																	
	石川県	名舟漁港			1	3.5	1	3				1	5	1	5	1	4	1	5
		富来漁港			1	5	1	3	1	3									
		安宅漁港			1	5	1	3	1	3	1	5	1	5					
		前波漁港					1	3	1	3									
		金沢港														1	3		
	福井県	金沢港金石地区船溜																1	5
		東尋坊・崎漁港								1	5	1	5	1	5	1	5		
岐阜県	梶漁港																1	4	
	長良川								1	4									
	東大江山											1	3	1	5	1	5		

			2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
ブロック	都道府県	場所	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日
			4 17	41 168	39 150	37 150	40 145	34 134	37 133	24 109
<中国・四国地方：15 日>			0 0	5 23	5 15	5 17	5 14	4 14	4 15	4 17
中国・四国	香川県	松山漁港		1 5						
		土庄港			1 3					
		要望箇所								
	徳島県	那佐港		1 3						
		由岐漁港			1 3	1 3				
		日和佐港					1 3			
		椿泊漁港						1 4		
		亀浦漁港（八木の鼻地区）							1 4	
		亀浦漁港								1 5
	愛媛県	佐田岬漁港		1 5	1 3	1 3				
		三机港		1 5	1 3	1 3	1 3			
		松山港（高浜地区）		1 5	1 3	1 3	1 2			
	高知県	九丁漁港						1 4	1 4	
		田之浦漁港								1 3
		境港				1 5				
	岡山県	宇佐漁港					1 3	1 3	1 4	1 4
生窓港						1 3	1 3	1 3	1 5	

		2013 年度		2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度	
ブロック	都道府県	箇所		日		箇所		日		箇所		日		箇所		日	
		4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109
<九州・沖縄地方：15 日>		0	0	5	25	5	16	5	21	5	15	4	14	4	14	1	3
九州・ 沖縄	佐賀県	唐津港		1	5	1	3										
		伊万里港		1	5			1	3	1	3						
	長崎県	館浦漁港		1	5	1	3										
		薄香湾漁港				1	2										
	熊本県	生月漁港						1	3	1	3						
		長崎港										1	4	1	4		
	沖縄県	八代港		1	5	1	3										
		名護漁港		1	5	1	5	1	5	1	3	1	3	1	3		
	大分県	都屋漁港														1	3
		別府港							1	5							
鹿児島県	吹浦漁港									1	3	1	3	1	3		
	山川漁港							1	5								
	枕崎漁港									1	3	1	4	1	4		

● 滋賀県

- ・ 堅田漁港 (10月20日～24日)
- ・ 宇曾川漁港 (11月9日～11日)
- ・ 沖之島漁港 (11月12日～13日、11月17日～18日)
- ・ 瀬田舟溜 (10月27日～31日)
- ・ 磯漁港 (11月3日～7日)

● 京都府

- ・ 浅刈川漁港 (7月15日～19日)

● 岡山県

- ・ 牛窓港 (12月7日～11日)

● 愛媛県

- ・ 田之浦漁港 (11月21日～23日)

● 高知県

- ・ 宇佐漁港 (11月25日～28日)

● 徳島県

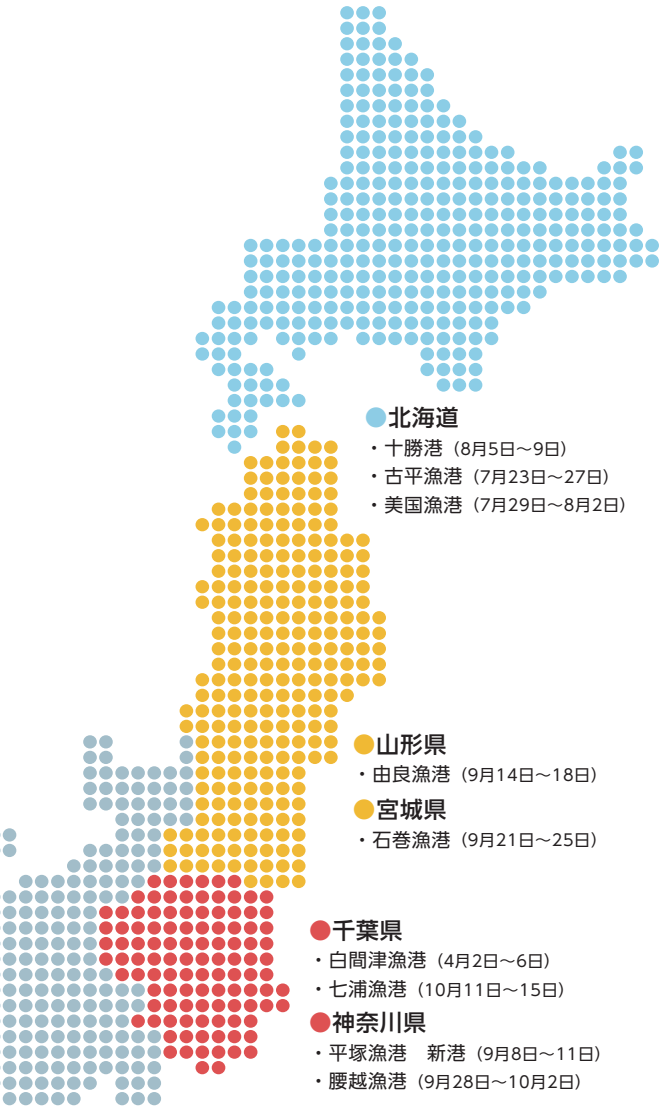
- ・ 亀浦漁港 (12月1日～5日)



● 沖縄県

- ・ 都屋漁港 (12月19日～21日)

2020 年度プロダイバー 水中クリーンアップ活動地域マップ



		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ブロック	都道府県	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所
		4	17	41	168	39	150	37	150
<北海道:15日>		0	0	3	15	3	15	4	15
北海道	道央	小樽港		1	5	1	5		
		浜益漁港				1	3		
		濃尾漁港				1	2		
		厚田漁港		1	5	1	5	1	5
		浜益地区(幌漁港)					1	2	
		浜益地区(群別漁港)					1	3	
	道東	古平漁港						1	5
		美国漁港						1	5
		十勝半島		1	5	1	5	1	5
		十勝半島		1	5	1	5	1	5

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
ブロック	都道府県	場所		箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	
		4	17	41	168	39	150	37	150	
						40	145	34	134	
							37	133	24	
									109	
<東北地方：9日>		0	0	7	24	4	14	3	15	
東北	岩手県	岩河湖			1	2				
	秋田県	能代港			1	5				
		米代川			1	1	1	1		
	山形県	酒田港			1	4.5	1	5		
		加茂港			1	3.5				
		鼠ヶ関港			1	4.5	1	3	1	5
		由良漁港								
	宮城県	仙台塩釜港			1	3.5	1	5	1	5
		長沼								
		石巻漁港①						1	3	1
青森県	石巻漁港②							1	3	
	三沢市 高瀬川放水路					1	5	1	3	

		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		
ブロック	都道府県	場所		箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	
		4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	
<関東地方：35日>		2	9	9	27	9	35	8	32	8	32	9	33	10	31	4	19	
関東	群馬県	榛名湖	1	5	1	5												
	栃木県	東古屋湖										1	5					
		土浦市（霞ヶ浦）	1	4	1	1								1	1			
		美浦村（霞ヶ浦）			1	4	1	3										
		阿見町（霞ヶ浦）			1	3	1	5										
		かすみがうら市（霞ヶ浦）					1	1										
	茨城県	土浦市（霞ヶ浦大岩田沼）							1	1								
		茨城町（潮沼）			1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		土浦市土浦港（霞ヶ浦）											1	1				
		鹿嶋市（北浦額賀船溜）									1	1						
		龍ヶ崎市（牛久沼）				1	4	1	5									
	千葉県	牛久市（牛久沼）									1	5	1	5	1	5		
		稲敷市（霞ヶ浦）											1	1				
		興津港				1	1											
		野島漁港				1	1											
		富浦漁港			1	5	1	5	1	5	1	5						
	神奈川県	乙浜漁港			1	5	1	5	1	5	1	5	1	5				
白間津漁港																		
七浦漁港												1	5	1	5	1	5	
茅ヶ崎漁港						1	5	1	5					1	3			
平塚漁港本港					1	5	1	5	1	5	1	5						
埼玉県	平塚漁港新港													1	3	1	4	
	片瀬漁港						1	5	1	5								
	大磯港								1	5	1	5						
	腰越漁港													1	3	1	5	
埼玉県	荒川舟溜り 菰川													1	4			

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度											
ブロック	都道府県	場所	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日	箇所 日											
<近畿地方：35日>			1 4	5 17	7 41	315 168	7 39	35 150	7 37	33 150	40 145	10 34	37 134	8 37	32 134	9 37	34 133	6 24	27 109	
近 畿	滋賀県	吉川港（琵琶湖）	1	5																
		早崎漁港（琵琶湖）			1	1.5											1	2		
		八木浜溜（琵琶湖）			1	2											1	4		
		南浜漁港（琵琶湖）			1	5											1	5		
		朝妻港（琵琶湖）			1	3														
		能登川漁港（琵琶湖）			1	5														
		木浜漁港（琵琶湖）			1	5					1	5								
		北山田漁港（琵琶湖）				1	5				1	5								
		知内漁港（琵琶湖）				1	5						1	4						
		志那漁港（琵琶湖）				1	5													
		堅田漁港（琵琶湖）				1	5				1	5							1	5
		長命寺漁港（琵琶湖）				1	5						1	3						
		大溝漁港（琵琶湖）				1	5													
		宇智川漁港（琵琶湖）						1	5								1	4	1	3
		出在家舟溜（琵琶湖）						1	5											
		沖之島漁港（琵琶湖）						1	5				1	3					1	4
		牧舟溜（琵琶湖）						1	4								1	2		
		野村舟溜（琵琶湖）						1	4											
		針江川舟溜・新川舟溜（琵琶湖）									2	3								
瀬田舟溜									1	4							1	5		
海津漁港											1	5								
膳所港											1	5								
切通し舟溜													1	5						
磯漁港																	1	5		
三 重 県	鳥羽港			1	10	1	5		1	5										
	熊野二木島港							1	5											
	尾鷲港									1	5									
京 都 府	奈良浦漁港															1	4			
	宮津港									1	5		1	5						
	旭漁港															1	3			
																		1	5	
和歌山県	白浜港・シメヅルア・ランド									2	5	1	5	1	5					

全国24箇所 109日実施(累計1009日実施)

Voice 水中クリーンアップ活動

～これまでの水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

宮城県 水産林政部 全国豊かな海づくり大会推進室 技術主査 鈴木隆史さん

2019年10月5日～8日、10月10日～12日 石巻漁港水中清掃実施

宮城県石巻市石巻漁港にて実施した水中クリーンアップ活動が、同漁港にて開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材大国みやぎ大会」の協賛行事としてご承認いただきました。令和2年開催に向けて、令和元年からプレイベントから実施をしていただきたいと宮城県全国豊かな海づくり推進室からご要望をいただき、実施致しました！ご要望元の宮城県全国豊かな海づくり推進室からは「私たちでは水中のごみに手を付けることが出来ませんでした、今回実施していただき、とても感謝しております。本番は来年になりますが、是非、よろしくお願いします！」と感謝のお言葉をいただきました。



茨城県 クリーンアップひぬまネットワーク 谷萩八重子さん

2019年7月13日 瀬沼水中清掃実施

2015年に、貴重な湿地や固有種等が生息する場所として「ラムサール条約登録湿地」となった茨城県瀬沼。例年、海の日前後に、流域市町が連携して実施している陸上清掃イベント「ひぬま流域クリーン作戦」では、クリーンアップひぬまネットワーク事務局よりご要望頂き、LOVE BLUE 事業の水中クリーンアップ活動も連携して実施しています。

同ネットワーク・谷萩八重子会長からは「私たちでは出来なかった水中の清掃を LOVE BLUE 事業が取り組んでいただけたおかげで、瀬沼はラムサール登録湿地となれました。本当に感謝しております。ありがとうございます！」とのお言葉をいただきました。



茨城県 土浦市 市長 中川清さん（当時）

2018年3月4日～8日 額賀船溜水中清掃実施

国内第2位の面積を持つ湖・霞ヶ浦。その流域24自治体が連携して取り組む陸上清掃イベント「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携し、水中クリーンアップ活動を実施致しました。主催者である「霞ヶ浦問題協議会」会長でもある中川清土浦市長（当時）からは「いつも霞ヶ浦の水をキレイにする為に、水中クリーンアップ活動を実施していただき、ありがとうございます！」とお喜びの声をいただきました。



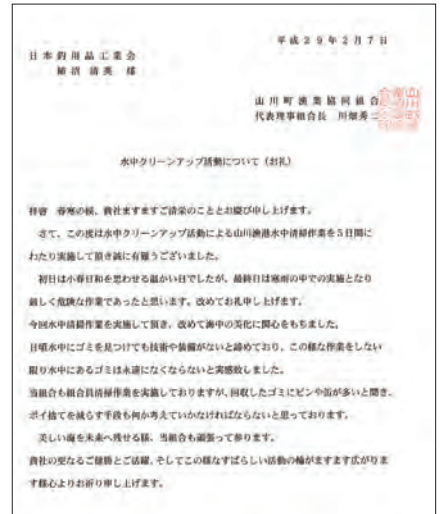
Voice 水中クリーンアップ活動

～これまでの水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

鹿児島県 山川漁業協同組合 代表理事組合長 川畑秀二さん

2017年2月1日～5日 山川漁港水中清掃実施

今回水中清掃を実施して頂き、改めて海中の美化に関心を持ちました。日頃水中にごみを見つけても技術や装備がないと諦めており、この様な作業をしない限り水中にあるゴミは永遠に変わらないと実感しました。当組合も組合委員清掃作業を実施しておりますが、ポイ捨てを減らす手段も何か考えていかなければならないと思っております。美しい海を未来に残せる様、当組合も頑張っ参ります。(御礼状抜粋)



三重県 熊野漁業協同組合 理事 山下眞次さん

2016年5月10日～14日 二木島港水中清掃実施

「二木島港は湾の奥やから、流されてきたゴミが溜まりやすいんでね。僕らも岸壁の上は掃除するけど、海の中は専門の技術や装備がいるし、お金もかかるし、自分らではできないでしょう。だから、みんな『ありがたい』と言っているよ。水中クリーンアップ活動が始まって一番びっくりしたのは、作業員さんたちがみんな礼儀正しいこと。誰かが通るたびに丁寧に挨拶してくれるから、ここの若い子らもみんな関心しとったよ。」



山形県漁業協同組合 念珠関統括支所 総括支所長 佐藤修さん

2016年6月28日～7月2日 鼠ヶ関港水中清掃実施

本格的な増備で、無料でしかもゴミの処分までやってもらえる。こんなありがたい話が本当にあるのかと思っていました。でも、実際清掃に入ってもらって、こちらの要望通りに作業をしてもらえるし、何よりも作業員の方々は礼儀正しいし、いつも気持ちの良い挨拶をしてくれる。本当にありがたいと思っています。



地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

～全国に広がる感謝の輪～

地球環境基金企業協働プロジェクト・LOVE BLUE 助成とは

地球環境基金が行う支援活動の中で、特定の活動に対して支援したい寄付者の「想い」を反映させたプログラムです。 LOVE BLUE 助成は、(一社)日本釣用品工業会より LOVE BLUE 事業の一環として、寄付した資金を基に、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっております。

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金とは環境庁(現・環境省)中心となって、民間団体(NGO・NPO)による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993年5月に創設されました。

LOVE BLUE助成団体

2020年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
鹿児島県	NPOくすの木自然館
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃ里山里海
東京都	DEXTE-K
香川県	NPOアーキペラゴ
神奈川県	一般社団法人スピリット・オブ・セイラース

2015年度

香川県	NPO アーキペラゴ
群馬県	NPO 浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO 荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
香川県	海守さめき会
東京都	(一社)JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2016年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっちゃの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2017年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっちゃの里山里海
福岡県	(一社)ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やっтарうde高島

2018年度

沖縄県	美ら海振興会
島根県	NPO アンダンテ21
鹿児島県	くすの木自然館
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
兵庫県	神戸海さくら
熊本県	次世代のためにがんばる会
東京都	全国川ごみネットワーク
石川県	NPO 能登半島おらっちゃの里山里海
福岡県	(一社)ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やっтарうde高島

2019年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
福岡県	(一社)ふくおかFUN
山梨県	NPO未来の荒川をつくる会
熊本県	次世代のためにがんばる会
鹿児島県	NPOくすの木自然館
長崎県	やっтарうde高島
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃ里山里海

Voice 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

～ LOVE BLUE 助成 2020 年度採択団体 日々の活動～

東京都

全国川ごみネットワーク

プラスチックごみ削減普及啓発プロジェクト

水辺のプラスチックごみ削減の普及啓発ツールとして、①川ごみピンゴカード、②啓発パネル(10枚組)、③説明ボード、④ごみ実物ボードを作成した。またその試行ごみ拾いを2回実施した。来年度の普及啓発に向け、小学校での出前講座の実施希望について、254校にアンケートを送付し、結果を得た。



水辺のごみ削減の普及啓発に向けたツールが充実した。今年度はコロナ禍において、活用する機会がほとんどなかったが、来年度以降に備えることができた。出前授業についても、それを望む小学校やその先生を抽出することができたので、来年度以降の効果的な実施が期待できる。

普及啓発ツールの貸し出しを積極的に行い、各地で水辺のごみの課題を知り、削減行動ができる人を増やす。またツールの改善や活用方法の検討などを行い、さらに活かされ、普及されることを目指す。出前授業については、各先生のニーズを知り、合わせた内容や教材を用意して臨む。



座長 亀山 久雄さん

兵庫県

NPO 神戸海さくら

須磨海岸における地域住民および海岸利用者の参加型清掃活動とマナー意識向上による持続的な環境保全活動

毎月1回のゴミ拾い12回と、海水浴場開催期間に該当する42回を合わせて、計54回のゴミ拾いを行い、延べ941人が参加しました。また、専門家による啓蒙セミナーを2回開催しました。神戸市内の公立中学校二校と兵庫県「トライやる・ウィーク」の一環として、協働で須磨海岸清掃を実施しました。



神戸市環境局主催「ぼくらは海のちょうさ隊」という海洋ごみ問題に対する啓蒙活動に協力団体として参画し、海洋プラスチックごみの回収に協力しました。なお今年度は、新聞4回、テレビ放送1回のメディアに取り上げられ、さらには、国土交通省海事功労者等表彰にて近畿地方整備局長表彰を受賞しました。

海洋プラスチック問題が今、世界的な注目を浴びています。ひとたび海に流れたゴミは回収することが非常に困難となることから、水際でゴミの海への流入を防ぐ私たちの活動は、益々重要になってくると思います。大都市における海洋環境保全のロールモデルになればと思います。



理事長 森口 智聡さん

鹿児島県

NPO くすの木自然館

鹿児島湾奥地域における湿地帯保全活動

3カ年の最終年度となる今年度は、新型コロナウイルス拡大対策のため、計画していた清掃活動や啓発活動は行うことができなかった。コロナ禍終息後を見越しての啓発教材を作成するため、主に湿地帯の環境指標となる、湿地帯周辺に生息する鳥類や底生生物相の把握を行った。



昨年度末から今年度にかけては、当法人の主催事業の実施も困難となった中、LOVE BLUE 助成のおかげで調査研究の分野では安定して事業を行うことができた。また、公的な助成を受けての活動であると説明をすることで、湾奥周辺地域での調査中も、社会的な信頼を背景に活動することができた。

コロナ禍が終息し、団体での清掃活動や啓発活動が再開できるようになった際は、これまでに収集できた知見や作成した教材を活かして、今年度行えなかった清掃活動、啓発活動を、地域のコミュニティ協議会や自治会の方々と行いたい。



専門研究員 小野田 剛さん

福岡県

宗像フェス CSR 推進実行委員会

日韓海洋プラスチックリサイクル環境学習事業

宗像フェスCSR推進実行委員会では、音楽フェスを通して、いかに社会性を追求して環境問題を解決できるかを目的に、行政、教育機関、民間企業とアライアンスを組んで活動しています。今年は、厳しい環境中でありましたが、リモートを駆使し日韓の双方で環境を考え海の環境を守る活動を行いました。



本事業に多くの学生や市民の受入れ人数に比例して、事業費が拡大するので折角の気持ちに応える事が出来ずにお断りする事がこれまでありました。LOVE BLUEの助成で、より多くの参加者で事業に望め、またこれまで以上に幅広いエリアでダイナミックに事業を展開する事ができました。

日韓それぞれで、環境問題の学習とフィールドワークを行う縛られた一年でありましたが、来年度は、これまでの事業に加え、オンラインを多用した学習と交流が出来る事で更に活動の可能性と戦略的な広報が出来ます。コロナ禍の一年が無駄ではなく、より効率的な事業展開ができます。



実行委員長 沢田 修一さん

Voice

埼玉県

NPO ジョイライフさやま

環境保全の大切さを伝える自然体験・地域交流の創出

コロナ禍の中計画していたプランが自粛、中止を余儀なくされましたが、その分来季の企画を考える時間が持てたこともあり、来季の少人数での事業プラン構想も話すことが出来たと思っています。漂流ごみによる海洋汚染を防ぐ河川事業や水辺周辺景観整備にも力を入れることが出来ました。



2020 年はコロナの影響により自粛中止を余儀なくされ環境学習を行うことが出来ませんでした。水辺の環境保全を志向する社会貢献事業を行っている LOVE BLUE と出会うことで水辺周辺の保全を目指す私たちにとって、河川管理を行う漁業協同組合との協働による事業や海洋汚染につながる漂流物を拾い河川清掃を目指すカヌー団体、川釣りを楽しむ団体などの交流ができ活動の幅ができたような気がしています。コロナ禍の今年は団体と出会いによる水辺周辺の清掃活動に力を入れることが出来ました。

他の団体との交流は環境保全の大切さを伝える自然体験、地域交流の創出を目標とする私たちにとって大きく躍進できる活動となると感じています。コロナ状況を鑑み、少人数での活動とはなと思いますが自然体験を交えた環境学習を行って行きたいと思っています。データーの写真は協働による団体との水辺周辺清掃活動による写真です。不法投棄による川から引き揚げた家電、台風による残留物など 4.5 トンにも及びました。



理事 高杉 克江さん

山形県

NPO パートナシップオフィス

大学生による海ごみ問題解決のための
クリーンアップとワークショップ事業

庄内地域の大学生を中心に 4 回にわたって約 100 人(7/9 22 名、9/14 - 15 14 名、11/13 35 名、3/15 - 17 24 名)と清掃活動を行い、海ごみを 665 袋(40L 袋換算)回収しました。



コロナ禍で公的機関主催の地域活動、学生活動が悉く中止になっていく中、民間のフットワークの軽さを活かして活動機会を作ることができました。本事業が、初めての課外活動、環境活動だったという大学生もいました。毎年清掃にお邪魔している遊佐町からは食料などの物品支援をいただき、活動が浸透してきていると感じます。

学生自ら、学内サークルを作り、他大学とのサークル同士の連携を取り始めています。大学生が自立的に活動を行う下地ができていると感じます。活動が続いていくように、側面的支援を自治体や行政と連携して続けていきます。



理事長 西村 修さん

宮城県

(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

宮城の浜の海洋ゴミを減らそうプロジェクト

東日本大震災から復活した宮城県の海水浴場で、プラスチックをはじめとする海洋ごみの調査を行うとともに、市民に実態を伝え、ごみの排出抑制につなげるため、海岸での調査活動、宮城県主催の清掃活動の講師、仙台うみの杜水族館との連携による普及啓発イベントへの参加などを行った。



本助成のおかげで定期的な海岸調査活動が実現できた。また、弊団体が海洋プラスチック問題に真摯に取り組んできたことが周囲にも伝わり、宮城県・豊かな海づくり大会実行委員会主催の海岸清掃の講師に選ばれたり、仙台市・せんだいメディアテーク主催の海洋ごみ関連展示の協力依頼を受けました。

コロナ禍で状況が変わったことと、一定の成果を上げたため、本事業申請は 2 年目の本年度で終えることとしたが、今後も定期的な海岸調査や清掃活動と、様々なステークホルダーと連携した海洋プラスチックごみ削減のための普及啓発活動を続けていきたい。



理事長 長谷川 公一さん

石川県

NPO 能登半島おらっちゃ里山里海

能登の里海環境・文化の持続可能性構築

世界農業遺産 (GIAHS) 認定の里海を、知って、守って、楽しむ、という観点から、コロナ禍の中でも事業を実施した。ミニ地引網による里海調査や海岸清掃活動には、市内小学生、その保護者など多くの市民の参加をいただいた。秋に開催した「釣り大会」には、コロナ禍での屋外体験という事もあり、過去最大の参加者(21 組、42 人)であった。冬には、初めて広い冬の海岸を歩く「里海ウォーキング」を実施した。



珠洲市内においても圧倒的に少なかった里海体験を実施することができた。市内小学校からの参加依頼や観光関係者からの問い合わせなど、改めて能登の里海の魅力を実感した。季節ごとの海岸周辺の海藻の量や冬の海岸の広さなど、海水浴以外に波打ち際まで足を運ぶことが少なくなった市民に里海の魅力を伝えることができた。

世界農業遺産認定 10 年の節目を踏まえ、これまで実施してきた里海保全活動の継続のほか、市民や観光客に「里海」をより身近に感じてもらうための魅力的な体験プログラムを NPO 自身が楽しみながら継続し、最終的には里山里海の繋がりによる奥能登珠洲の魅力を発信する。



専務理事 金田 直之さん

Voice

東京都

DEXTE-K

西なぎさ発～東京里海エイド(ラムサール条約に登録された葛西干潟における漂着ごみ収集を中心とした保全活動)～

- 参加者総数：172名（内こども：16名）
- 漂着ごみ総数：45 リットルゴミ袋×92袋
- 粗大ごみ：28
- 参加企業：4社（エコー電子工業、国際ロータリー第2580地区ローターアクト、トーセイ、TOTO グループ、ジブラルタ生命保険、日本郵政グループ労働組合）



WEB 構成を更新することができ、カテゴリ別に SDGs 関連の情報を発信することが可能となった。またえどがわエコセンターとの共催により12月に木村尚氏を招いて「エコアクション講座」を実施することができ、地元地域の市民へ当該活動エリアの環境保全意識向上の手応えがあった。

フィールド活動以外にオフフィールド活動にもシフトしていき、当該活動の西なぎさのみではなく東京湾の美化に繋がる活動をしていきたいと考えている。またそのためには、関係諸団体や市民をはじめとする多くのステークホルダーとの連携、および一層の情報発信が必要と考えている。



DEXTE-K 橋爪 慶介さん

香川県

NPO アーキペラゴ

瀬戸内海を美しくするためにはじめる身近な川ごみ調査

瀬戸内海に流入するごみの66%が陸域由来と考えられている。そこで、陸域から海へ流入する経路の河川に目を向け、川ごみ調査と川ごみマップ作成を行った。調査により判明したごみが多く溜まる場所で効率的なごみ回収活動やマップ（見える化）によるごみ発生抑制につなげる啓発活動を行った。また、ごみ削減に向けて流域住民と川ごみ調査の意見交換を行った。



- ・高松市の河川における川ごみの状況を知ることができ、多くごみが溜まる場所で回収活動が行えた。
- ・ごみの溜まる場所は行政とも共有して、行政主催の川ごみ・海ごみ回収活動がこれらの場所で行われている。このことから、我々以外の活動にも広がりを見せている。
- ・川ごみマップが作成（Web版、紙版）でき、環境学習やごみ発生抑制の呼びかけ資料として活用できる。
- ・高松市域における川ごみ調査であったため、範囲を拡げて他の河川でも調査を行う。
- ・本事業で判明したごみが多く溜まる場所でクリーンアップの定期的な実施。
- ・環境団体や行政から川ごみ調査の方法や内容について問い合わせがきている。今後、ノウハウを提供し、他団体とも協力してごみの発生抑制、回収活動に取り組む。



理事長 三井 文博さん

神奈川県

(一社)スピリット・オブ・セイラーズ

Ocean College ～海を学び、地球を感じる体験～

自然環境と自分たちの行動について考える機会となるオンライン動画を毎月配信。「水辺の自然環境教育 Project Wild」を題材に海ゴミ・海洋プラスチック・水の汚染を中心とした問題をオンラインで考えながら学べる機会を作った。また、海を守るためのゴミ拾いをオンラインで毎週実施。参加者がそれぞれの居住地の近くで清掃活動を行い、その様子や感想、拾ったゴミの量を SNS にアップして全国でゴミ拾いの輪を広げていった。(どちらの活動もコロナウイルス感染対策に配慮した手段とした)



動画視聴回数 950 回 【協力団体：Project Wild（一般財団法人 公園財団）】 清掃活動参加者数 80 人。東京・神奈川・岡山・愛知でのゴミ拾い。集めたゴミの量 122kg。(2021 年 2 月現在) 拾った海洋プラスチックゴミの一部がアクセサリーにアップサイクルされた。【協力団体：カエルデザイン with リハス（株式会社クリエイターズ）】

海洋体験活動に参加する人やプレジャーボートに乗る人が発見したゴミを拾うようになる為に、船にて参加者の方と漂流ゴミ・漂着ゴミの清掃を行い、地球環境と自分たちの行動について考える活動を行う。また、今年度に引き続きオンラインを通じた清掃活動を行う。



代表理事 山本 海さん

専門機関と連携した放流事業

～放流事業の全国展開へ～

2013 年 4 月の事業開始より 2017 年度まで、専門機関と連携した放流事業として、公益財団法人神奈川県栽培漁業協会へ事業委託し、釣り人の皆様に喜んで頂けるよう、毎年マダイ稚魚を神奈川県側の東京湾へ 20 万尾（5 年間累計 100 万尾）放流すると共に、漁獲・釣獲の面から放流効果調査も進めて参りました。

この公的栽培機関と連携した 5 年間の放流事業の実績から「一定の海域・資源量を基礎にした放流量の指針」を得るとともに、栽培養殖に係る公共機関との信頼関係を醸成することが出来ました。このような背景を基礎に 2018 年度から、全国各地の公的栽培機関と連携・協力体制を構築しながら、一定の海域・資源等も踏まえた『釣り人の皆様に喜んで頂ける、釣りに利活用出来る魚種』の放流を各地で進めて参りたいと考えました。

そのため、まずはこれまでの実績と信頼関係を基に、2017 年度内に栽培漁業に関する中央団体である「公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会」へ LOVE BLUE 事業へのご協力を依頼させて頂き、そして 2018 年 1 月 30 日に開催された、第 3 回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議・平成 29 年度栽培漁業推進全国会議以降、毎年度、2020 年度は 2021 年 1 月 29 日に、各都道府県の水産担当者や栽培機関の方々へ、LOVE BLUE 放流事業へのご協力をお願いをさせて頂いています。

第6回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議 LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業へご協力を依頼



釣り人の皆様からの浄財を適正に事業推進する枠組み
専門機関と連携した放流事業の全国展開
～（公財）神奈川県栽培漁業協会との放流実績から～

栽培漁業協会中央団体
公益社団法人 全国豊かな海づくり推進協会
（旧）日本栽培漁業協会

第 6 回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議
令和 2 年度栽培漁業推進全国会議

都道府県水産担当者
（栽培漁業）
『栽培基本計画策定』

都道府県 栽培漁業協会
『種苗生産施設』

各地での栽培魚種の中から、釣り人に喜ばれる魚種の放流

専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

青森県 (ヒラメ15万7100尾)

7月20日、21日 9月15日



山形県 (クロダイ1万8880尾)

10月7日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

秋田県

(ヒラメ3万2105尾・マダイ2万220尾・クロソイ2万尾)

7 月 23 日、9 月 4 日



神奈川県

(マダイ9万8000尾・カサゴ5000尾)

8 月 22 日、25 日、28 日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

2020年度 1府10県9魚種 735万6305尾

新潟県 (ヒラメ8万尾)

6月30日、7月3日、8日、9日、14日、15日、16日、28日、29日、30日



累計 8 年間 935 万 4155 尾

静岡県 (マダイ3万尾・ヒラメ3万尾)

6月2日、7月30日、31日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

滋賀県

(ホンモロコ400万尾・ゲンゴロウブナ250万尾)

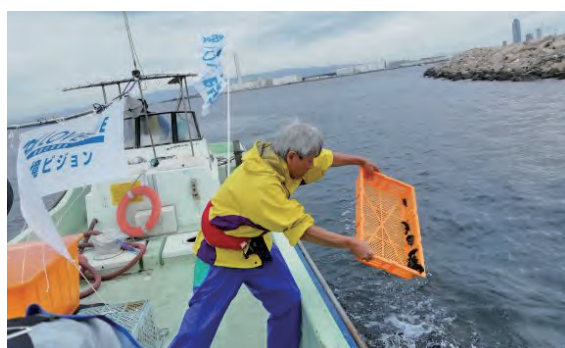
5月9日、10日、13日、15日、18日、19日、20日、22日、25日、26日



大阪府

(キジハタ1万尾)

10月22日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

2020年度 1府10県9魚種 735万6305尾

熊本県

(カサゴ7万6800尾・イサキ7万6800尾)

4月16日、24日、8月19日、22日



累計 8 年間 935 万 4155 尾

大分県

(ヒラメ4万4200尾・イサキ5万6200尾)

7月2日、9日、9月16日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

鹿児島県 (マダイ10万1000尾)

7月26日、29日



2020年度 1府10県9魚種 735万6305尾

累計 **8** 年間 **935** 万 **4155** 尾



専門機関と連携した放流事業

～放流事業にご協力頂いた皆様からの感謝の声～

公益社団法人
青森県栽培漁業協会

栽培部長 葛西浩史 さん



ヒラメは、本県では全海域で漁獲される高級魚で、県の魚にも指定されています。

ヒラメ栽培事業は平成2年度から開始され、令和2年度で30周年となりましたが、ヒラメ漁獲金額からの定率負担金、漁業団体、市町村、県が造成した基金の運用益を財源としたヒラメ稚魚の大量放流（年間目標200万尾）、資源管理（全長制限等）を行ってきたところ、平成元年に200トン程度まで落ち込んでいた漁獲量が平成7年以降1千トン程度の年が増え、漁獲量日本一の年も多く、全国モデルとして高く評価され、多くの釣り客にも喜ばれてきましたが、事業開始直後のバブル経済崩壊や韓国産養殖ヒラメの増加に伴う魚価低迷、低金利の影響により、事業収支は厳しくなる一方でした。

このような中、LOVE BLUE 事業により、本県において、ヒラメ稚魚放流が平成30年度から3年間実施されたことは誠に意義深く、種苗生産機関の担当者として大きな喜びを感じており、深く感謝申し上げます。

当協会ではヒラメの他にも、釣りで人気の高いアイナメやキツネメバル（マゾイ）の種苗生産も行っており、今後もよろしくお願ひするとともに、漁業、遊漁に係る皆様の連携により、多くの恵みをもたらす豊かな海づくりが進むこと、一般社団法人日本釣用品工業会のさらなるご発展を祈念いたします。

公益財団法人
山形県水産振興協会

栽培部長 余語滋 さん



江戸時代より、ここ庄内浜では武士の鍛錬の一つとして磯釣り（特にクロダイ釣り）が推奨され、「庄内竿」と呼ばれる地域特有の釣り竿まで存在する歴史的な釣り文化がある土地です。

この度は、LOVE BLUE 事業を活用させていただける機会を頂き、クロダイ稚魚の放流を行えたことは、遊漁者や釣具店への恩恵があっただけでなく、放流に参加した各地域の児童や園児達は、放流を通じて海の環境保全の大切さや、命に対しての慈しみや思いやりを知ると共に、この地域に根付いている釣り文化の歴史を知る機会にもなったようです。

そして、放流に目を輝かせて参加している児童や園児達の姿を見ると、この放流体験の意義を改めて感じると共に、この LOVE BLUE 事業を活用させて頂いたことに感謝申し上げます。



専門機関と連携した放流事業

～放流事業にご協力頂いた皆様からの感謝の声～

秋田県
釣り連合会

会長 佐藤進 さん



この放流についてはとても喜んでますよ。ありがたくてありがたくて、うちのところは会費でやっている放流だから数が少ない。だいたい4000尾とか購入して、8年やって8万5000尾くらいしかいってないんだよ。だから、少ないもんだから、ありがたいですよ。いつでもご協力致します。話が最初に（公財）秋田県栽培漁業協会理事長中村さん（当時）から来た時、とてもうれしかった。救いの手が来たと思った。ずっと続けて欲しい。



公益財団法人
秋田県栽培漁業協会

事務局長 齋藤寿 さん



放流事業はとんでもなく助かってます。うちの方は種苗生産をして、放流をして、水産資源の増殖を図ろうしているので、やっていますが、今までは、漁業者が主体になって、漁業の為にというイメージ、それがウエイトが高いんですけども、それ以外に遊漁の方ですとか、海に親しみを持っている方とかいるわけですから、そういう方たちへの親しんでもらう為のきっかけとしては非常にありがたいと思いますし、端的に栽培協会の経営的な部分もお助けいただいて、是非継続していただければと思います。県内の別のところでも LOVE BLUE の放流の話が出てくれば私どもでも対応を考えていければと思います。漁業者からのニーズは漁協から取りやすいが、遊漁者のニーズは難しいですが、（公財）日本釣振興会だったり、秋田県釣り連合会さんが放流作業に協力していただいているのは大変助かっております。本当にありがとうございます。

水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～内水面釣り場拡大（ワカサギ）は、2020 年度は 5 団体を採択～

本事業は水産庁ご後援のもと、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターや、全国内水面漁業協同組合連合会から、LOVE BLUE 事業へご理解とご協力を頂きながら、2017 年度から始まりました。2020 年度には全国累計 18 団体へと支援させて頂きました。

この事業は、ワカサギ卵供給にかかる初期設備（ふ化施設等）一式の物納支援という形で、各都道府県の水産試験場等の研究機関等からも技術指導の協力を各団体が得ながら推進しています。

2017 年度、2018 年度、2019 年度に物納支援を行った団体からは、すでに地場産のワカサギ親魚の採捕や、それによる他水域へのワカサギ受精卵の販売・供給等が実施されとの報告がありました。今後も、ワカサギ釣り場創設といった、地域のニーズに対し、国や研究機関、漁業者団体等からの周知広報を含めた協力を得ながら、釣り界が LOVE BLUE 事業を通じて、支援して参ります。

ワカサギに学ぶ会



2020 年度は新型コロナウイルスの影響により「第 25 回ワカサギに学ぶ会」は中止になりました。写真は 2019 年度「第 24 回ワカサギに学ぶ会」へ参加し、本事業のご説明をしている様子になります。

4 年間累計 18 団体

2020 年度

014：兵庫県	東条湖
015：北海道	網走湖
016：栃木県	川俣湖
017：新潟県	奥只見湖
018：宮城県	花山ダム

2017 年度

- 001：群馬県 鳴沢湖
- 002：長野県 美鈴湖 / 小花見池

2018 年度

- 003：埼玉県 名栗湖
- 004：千葉県 高滝湖
- 005：兵庫県 音水湖
- 006：茨城県 霞ヶ浦
- 007：群馬県 梅田湖
- 008：島根県 尾原ダム湖
- 009：山梨県 河口湖

2019 年度

- 010：佐賀県 北山湖
- 011：山形県 横川ダム
- 012：山梨県 山中湖
- 013：北海道 しのつ湖

水産庁後援名義使用許諾 文書



水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業
～内水面釣り場拡大事業 (ワカサギ) は 2020 年度 5 団体を採択～

2020年度採択団体(5団体)

- 兵庫県「東条湖」加古川漁業協同組合 4連孵化器1基/自然産卵水槽1基
- 北海道「網走湖」西網走漁業協同組合 自然産卵水槽6基
- 栃木県「川俣湖」川俣湖漁業協同組合 2連孵化器2基/自然産卵水槽1基/親魚捕獲用定置網
- 新潟県「奥只見湖」魚沼漁業協同組合 4連可搬型孵化器2基/孵化装置設置用浮棧橋
- 宮城県「花山ダム」花山漁業協同組合 4連可搬型孵化器1基/自然採卵水槽2基/親魚捕獲用定置網2張/孵化装置設置用棧橋



兵庫県/加古川漁業協同組合



栃木県/川俣湖漁業協同組合



新潟県/魚沼漁業協同組合



北海道/西網走漁業協同組合



宮城県/花山漁業協同組合

水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

内水面釣り場拡大事業（ワカサギ） ～ 2019 年度までに採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2017年度採択団体(2団体)

■群馬県「鳴沢湖」群馬県水産試験場 自然産卵水槽

■長野県「美鈴湖」小花見池 長野県水産試験場 ソーラー式可搬型孵化器



水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

内水面釣り場拡大事業 (ワカサギ)

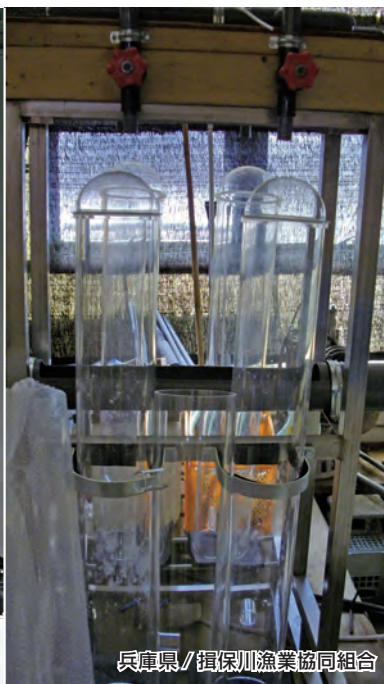
～ 2019 年度までに採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2018年度採択団体(7団体)

- 埼玉県「名栗湖」入間川漁業協同組合 4連孵化装置
- 兵庫県「音水湖」揖保川漁業協同組合 4連孵化装置
- 群馬県「梅田湖」両毛漁業協同組合 ソーラー式可搬型孵化器/自然産卵水槽



埼玉県 / 入間川漁業協同組合



兵庫県 / 揖保川漁業協同組合



群馬県 / 両毛漁業協同組合

2018年度採択団体(7団体)

- 千葉県「高滝湖」養老川漁業協同組合 親魚捕獲用定置網
- 島根県「さくらおろち湖」さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会 4連孵化装置
- 茨城県「霞ヶ浦」霞ヶ浦漁業協同組合 自然産卵水槽
- 山梨県「河口湖」河口湖漁業協同組合親魚捕獲用定置網



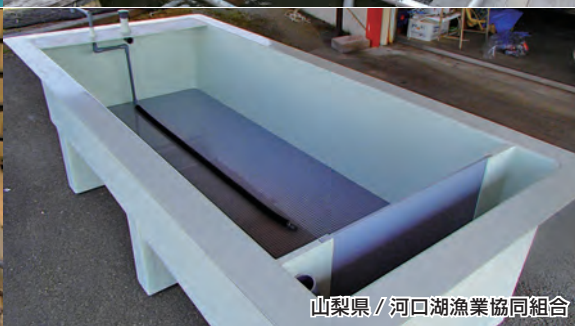
千葉県 / 養老川漁業協同組合



島根県 / さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会



茨城県 / 霞ヶ浦漁業協同組合



山梨県 / 河口湖漁業協同組合

水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

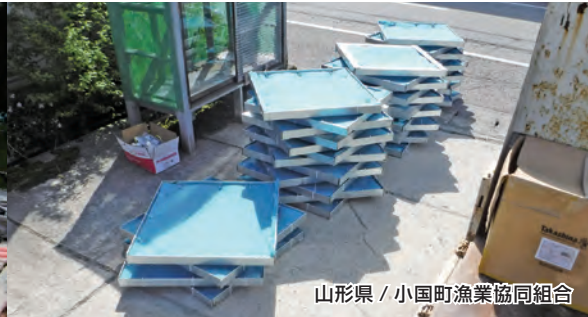
内水面釣り場拡大事業（ワカサギ） ～ 2019 年度までに採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2019年度採択団体(4団体)

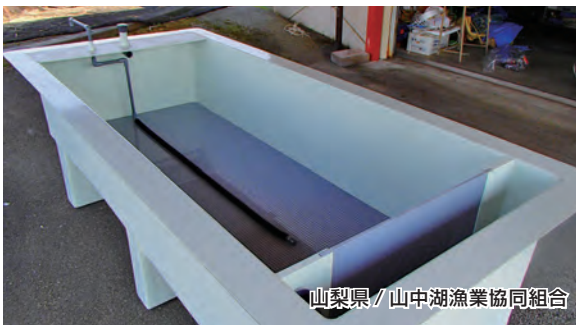
- 佐賀県「北山湖」北山湖環境保全及び安全対策会 2連孵化装置／自然産卵水槽
- 山形県「横河ダム」小国町漁業協同組合 サランロック／ゴムポート
- 山梨県「山中湖」山中湖漁業協同組合 親魚捕獲用定置網／自然産卵水槽
- 北海道「しのつ湖」新篠津村／2連孵化装置 自然産卵水槽



佐賀県 / 北山湖環境保全及び安全対策会



山形県 / 小国町漁業協同組合



山梨県 / 山中湖漁業協同組合



北海道 / 新篠津村

群馬県高崎市 富岡賢治市長へ表敬訪問 ワカサギ卵孵化施設整備支援への感謝状授与式

2018年3月28日(水) 群馬県高崎市役所市長室

LOVE BLUE 事業は、社会貢献事業として実施する水産庁後援、内水面釣り場拡大事業「ワカサギ」について、2018年3月28日、群馬県高崎市 富岡賢治 市長へ、同市鳴沢湖公営釣り場にワカサギ卵孵化施設一式設置のご報告及び御礼のご挨拶に、当工業会 大村一仁 副会長、小島忠雄委員長、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事らが表敬訪問を行い、富岡市長より感謝状が授与されました。富岡賢治 高崎市長より、「ワカサギ釣りは地元高崎市にとっても大きな収入源の一つとなっております。地域経済の発展なども含めて、本当にありがとうございます。」と感謝のお言葉をいただきました。



(左から：富岡賢治 市長、大村一仁 副会長、小島忠雄 委員長)

Ⅱ



(公財) 日本釣振興会 2020 年度事業報告

- ・ 水中清掃事業
- ・ 放流事業
- ・ マナー看板設置事業
- ・ 産卵床 魚道設置
- ・ 防波堤開放 釣り人拡大

水中清掃事業 2020 年



2020 年は台風の上陸はなく荒天で中止となった水中清掃はありませんでしたが、4 月 9 日の緊急事態宣言発令後いったん全ての活動計画を中止いたしました。その後感染状況の推移を見ながら 6 月 27 日に第 1 回目の活動をスタートさせました。それでも新型コロナの感染に配慮している場所も多く、32 回の計画に対して実施回数は 20 回で終わりました。

20 回の清掃にはダイバー 334 名、船・陸上

手伝い 329 名、合計 663 名に参加をして頂き、合計 5,425^{kg}のゴミを回収いたしました。1 回当たりの回収ゴミの重量は 271^{kg}と 2019 年の 267^{kg}とほとんど同じでした。LOVE BLUE 事業からの受託事業としての水中清掃は 10 回でした。

2006 年から始まった日釣振の水中清掃活動は、2020 年末で累計 553 回となりました。

2020年6月27日

静岡県安良里漁港

参加人数 29名



〔協力〕 伊豆漁業協同組合、西伊豆町、(一社)ブルーエコ協議会

コロナ感染対策で近隣の漁港の閉鎖状態が続くなか、ここ安良里漁港は開放されているため連日釣り人が訪れていた。

2020年7月18日

和歌山県田辺港内之浦湾

参加人数 25名



〔協力〕 田辺市水産課、NPO 海未来、クラブドウダイビングセンター

長雨の影響で水中の透明度は悪く、またゴミを拾い上げるとヘドロで濁りさらに見にくくなる状況で作業条件は悪かった。

2020年7月24日

静岡県熱海港海釣り施設

参加人数 37名



〔協力〕 熱海市、熱海港海釣り施設、伊豆小型船安全協会、海をつくる会

台風で壊されたフェンス等が揚がった。また海釣り施設のため多数のオモリも回収されました。

2020年8月21日

兵庫県播磨町新島

参加人数 23名



〔協力〕 東播磨港労働者福祉センター、NPO 海未来、クラブドウダイビングセンター、チームアイランズ
 清掃場所の石組岸壁には、釣り人が捨てたと思われるペットボトルや飲料缶が多く挟まっていました。水中から回収されたゴミは自転車、車のホイール、バッテリー、クーラー、鉄パイプ等投棄ゴミが多くありました。

2020年8月29日

静岡県下田港犬走堤防

参加人数 40名



〔協力〕 伊豆漁業協同組合、須崎ダイビングセンター、下田防波堤愛好会、海をつくる会
 回収されたゴミは堤防から風で飛ばされたサオ、サオ掛け、椅子等が多くありました。
 また堤防で定期的に清掃活動をしている下田防波堤愛好会のメンバーに、今年も清掃の協力をして頂きました。

2020年9月5日

焼津港ふいしゅーな

参加人数 51名



〔協力〕 焼津ふいしゅーな釣り愛好会、藤枝マリンダイビング、海をつくる会、(有) はなまる
 清掃前に焼津市中野市長が来られ、毎年の清掃に対するお礼の言葉がありました。ゴロタ石の間にガンガゼが多くいるため、慎重な作業が求められました。

2020年9月26日

和歌山県田ノ浦漁港

参加人数 34名



〔協力〕 和歌山市、和歌山北漁業協同組合、NPO 海未来、クラブドゥダイビングセンター

和歌山市水産課長とバディーの方も清掃に参加をしてくださいました。釣り人が多い場所のため、風で飛ばされた椅子等が多く回収されました。

2020年10月3日

山梨県河口湖

参加人数 37名



〔協力〕 河口湖町、河口湖漁業協同組合、山中湖 53pickup, 海をつくる会

河口湖でのワームの使用は禁止されていますが、まだ多数のワームが回収されています。またゴルフボールも多く回収されました。

2020年11月14日

大阪府舞洲夢舞大橋下

参加人数 35名



〔協力〕 大阪釣具協同組合、大阪市漁業協同組合、NPO 海未来、クラブドゥダイビングセンター

ゴミは釣具を中心に回収されたが、台風で流された救命浮環箱や縄梯子、それに投棄されたパソコン、テレビ、バッテリー等回収されました。

2020年12月22日

兵庫県淡路交流の翼港

参加人数 27名



〔協力〕 淡路県民局洲本土木事務所、(株)夢舞台、NPO 海未来、淡路岩屋漁業協同組合、
クラブドゥダイビングセンター

昨年は台風の被害を受けた旅客ターミナルが工事中で清掃できませんでした。今回は透明度もよくいろいろな
ゴミが回収されました。

回数	実施日	実施場所		参加人数		
		県名	場所名	ダイバー	陸上・船	合計
1	6月27日	静岡県	安良里漁港	21	8	29
2	7月18日	和歌山県	内之浦湾	14	11	25
3	7月24日	静岡県	熱海港海釣り施設	24	13	37
4	8月21日	兵庫県	播磨町新島	11	12	23
5	8月29日	静岡県	下田港犬走堤防	18	20	38
6	9月5日	静岡県	焼津ふいしゅーな	18	33	51
7	9月26日	和歌山県	田ノ浦漁港	19	15	34
8	10月3日	山梨県	河口湖	20	17	37
9	11月14日	大阪府	夢舞大橋下	13	22	35
10	12月22日	兵庫県	淡路交流の翼港	12	15	27
合 計				170	166	336

1府**5**県**10**回実施**166**人参加



放流事業 2020 年

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の資金を使用した放流は2020年で6年目となりました。
放流は基本的に地元の小売店、釣り人に協力をしてもらっておりまして、LOVE BLUE 事業について理解をして頂きたい機会になっていると思います。

岐阜県長良川

アユ



岐阜県新揖斐川橋下

サツキマス



岐阜県根尾川

アマゴ



岐阜県板取川

アマゴ



三重県五か所湾

カサゴ



三重県大内山川

アマゴ



三重県津市津ヨットハーバー

ヒラメ



三重県尾鷲港

ヒラメ



三重県鳥羽市国崎

ヒラメ



広島県江田島長瀬海水浴場

マコガレイ



埼玉県北本総合公園

ギンブナ



埼玉県川田谷沼

ヘラブナ



埼玉県明秋釜虎

ヘラブナ



埼玉县城山公園大池

ヘラブナ



埼玉県油井ヶ島沼

ヘラブナ



埼玉県逆川

ヘラブナ



埼玉県大吉調整池

ヘラブナ



埼玉県入間川水系

ウグイ



徳島県活き大島牟岐大島

メジナ



徳島県吉野川運動公園

カサゴ



鹿児島県江口湾

カワハギ



山梨県千代田湖

ヘラブナ



香川県高松沖

ヒラメ



香川県坂出ふ頭

メバル



神奈川県横須賀市海辺つり公園

メバル



神奈川県横須賀市海辺つり公園

カサゴ



神奈川県久里浜沖

カワハギ



北海道忠別川

ニジマス



北海道発寒川

ヤマメ



千葉県大原地先

ヒラメ



千葉県大原沖

イサキ



千葉県黒部川

ヘラブナ



高知県日宇佐漁港・日種崎海岸

ヒラメ



高知県宇佐漁港

カサゴ



愛媛県松山市三津浜

ヒラメ



和歌山県御坊市 由良

クロダイ



宮城県仙台湾塩釜

マダイ



茨城県大洗マリーナ

メバル



新潟県新潟東港

クロダイ



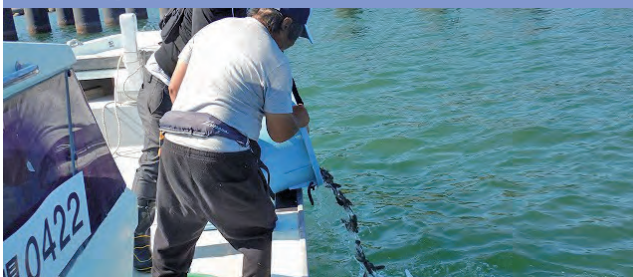
愛知県一色漁港

カサゴ



静岡県清水港

カサゴ



静岡県焼津ふいしゅーな

カサゴ



東京都若洲沖

カサゴ



東京都水元公園

ギンブナ



東京都目黒区清水池

ヘラブナ



東京都舎人公園

ヘラブナ



山梨県笛吹川系日川

アマゴ親魚



栃木県7河川

ヤマメ発眼卵



山口県上関町室津

キジハタ



奈良県室生ダム

ヘラブナ



京都府舞鶴湾

クロダイ



2294.5_{kg} 12万2,500粒,
162,890 尾放流実施

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
岐 阜	長良川	5月12日	アユ	5,000 尾
	新垣斐川橋下	11月22日	サツキマス	650 尾
	根尾川	3月8日	アマゴ	1,200 尾
	板取川	3月17日	アマゴ	1,200 尾
三 重	五か所湾	6月4日	カサゴ	3,500 尾
	大内山川	6月20日	アマゴ	78kg
	津市津ヨットハーバー	11月29日	ヒラメ	1,120 尾
	尾鷲港	12月8日	ヒラメ	2,000 尾
鳥羽市国崎		2月2日	ヒラメ	1,000 尾
広 島	江田島長瀬海水浴場	7月3日	マコガレイ	2,530 尾
	高松沖	7月9日	ヒラメ	5,100 尾
	坂出ふ頭	10月6日	メバル	6,300 尾
神奈川	横須賀市海辺つり公園	7月17日	メバル	5,000 尾
		9月25日	カサゴ	5,000 尾
	久里浜沖	11月25日	カワハギ	10,000 尾
北海道	忠別川	7月19日	ニジマス	32kg
	発寒川	7月25日	ヤマメ	80kg
千 葉	大原地先	7月21日	ヒラメ	10,000 尾
	大原沖	10月28日	イサキ	3,300 尾
	黒部川	11月7日	ヘラブナ	176kg
高 知	日宇佐漁港・日種崎海岸	7月29日	ヒラメ	10,300
		8月6日		
宇佐漁港		10月5日	カサゴ	10,000 尾
愛 媛	松山市三津浜	8月5日	ヒラメ	4,660 尾
	御坊市由良	8月20日	クロダイ	8,300 尾
宮 城	仙台湾塩釜	9月2日	マダイ	6,400 尾
茨 城	大洗マリーナ	9月2日	メバル	2,000 尾
新 潟	新潟東港	8月27日	クロダイ	9,000 尾
愛 知	一色漁港	9月17日	カサゴ	3,100 尾
静 岡	清水港	9月30日	カサゴ	5,000 尾
	焼津ふいしゅーな	9月30日	カサゴ	5,000 尾

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg・粒
東 京	若洲沖	8月28日	カサゴ	3,300 尾
	水元公園	10月2日	ギンブナ	75kg
	目黒区清水池	11月15日	ヘラブナ	78kg
	舎人公園	12月6日	ヘラブナ	84kg
埼 玉	北本総合公園	10月2日	ギンブナ	75kg
	川田谷沼	10月25日	ヘラブナ	196kg
	明秋金虎	10月25日	ヘラブナ	350kg
	城山公園大池	11月21日	ヘラブナ	100kg
	油井ヶ島沼	11月22日	ヘラブナ	116kg
	逆川・大吉調整池	11月22日	ヘラブナ	176kg
徳 島	入間川水系	12月10日	ウグイ	53.5kg
	さくしま牟岐大島	7月19日	メジナ	4,000 尾
	吉野川運動公園	10月4日	カサゴ	10,000 尾
鹿児島	江口湾	10月6日	カワハギ	2,800 尾
山 梨	千代田湖	10月6日	ヘラブナ	375kg
	笛吹川系日川	10月6日	アマゴ親魚	600 尾
栃 木	7 河川	11月11日	ヤマメ発眼卵	122,500粒
山 口	上関町室津	11月18日	キジハタ	3,430 尾
奈 良	室生ダム	12月5日	ヘラブナ	250kg
	舞鶴湾	7月19日	クロダイ	12,100 尾

マナー看板設置事業 2020 年

1 都 1 府 6 県に 90 枚設置

2020 年も各地でマナーの向上を呼び掛ける看板の設置を行いました。

	県 名	場 所	設置枚数
1	静 岡 県	仁科・田子・安良里・宇久須漁港	9
2	千 葉 県	印旛沼	10
3	千 葉 県	大原港・岩船港・太東港	8
4	大 阪 府	大阪港	3
5	千 葉 県	御宿漁港	5
6	兵 庫 県	気比の浜	2
7	東 京 都	豊洲ぐるりパーク	34
8	三 重 県	白塚漁港・河芸漁港・香良漁港	10
9	新 潟 県	太夫浜地内	2
10	和歌山県	那智漁港・浦神漁港・小金島漁港	4
11	静 岡 県	田子港	3
		合 計	90枚

和歌山県那智勝浦町



大阪市大阪港



東京都豊洲ぐるりパーク



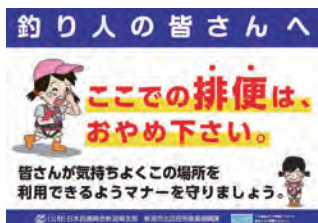
三重県白塚漁港他



兵庫県気比の浜



新潟県新潟市



静岡県田子港



静岡県西伊豆町



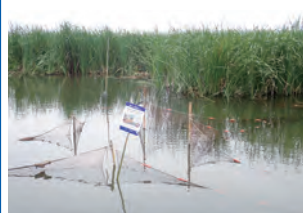
千葉県いすみ市



千葉県御宿町



千葉県印旛沼



産卵床・魚道設置 2020 年

海水温の上昇やアイゴの食害等いろいろな原因でアオリイカが産卵する海藻が減っています。アオリイカ釣りは人気のある釣りですので、少しでもアオリイカを増やすために平成 25 年からボランティアダイバーの協力を得て、アオリイカの産卵床の設置を行っています。

コイはコイヘルペスのため放流ができない状態が続いています。そこで自然産卵を促してコイを増やすために平成 29 年よりコイの産卵床の設置を始めました。

魚道については日大の安田教授の協力を得て、アユが遡上しやすくなる簡易魚道の設置を始めました。わずかな段差でもアユが遡上できないところに簡易魚道を設置することで、多数のアユの遡上が確認されています。

コイの産卵床設置



埼玉県入間川

アユ魚道の整備



静岡県磐田市一雲済川

アユ魚道の整備



北九州市紫川

アユ簡易魚道の整備



京都府鴨川

アオリイカの産卵床設置



和歌山串本沖

	県名	設置場所	実施日	対象
産卵床	埼玉県	入間川	2020年 4月 3日	コイ
	和歌山県	串本沖	2020年 4月16日	アオリイカ
	埼玉県	霞川	2020年 6月30日	オイカワ
	東京都	秋川支流・養沢川・北秋川・南秋川	2020年10月30日	ヤマメ
	埼玉県	入間川	2021年 3月25日	コイ
魚道	静岡県	一雲川	2020年12月16日	アユ魚道
	福岡県	紫川	2021年 2月 3日	アユ魚道
	京都府	鴨川	2021年 3月27日	アユ魚道

合計 **27** ヶ所

防波堤開放・釣り人拡大 2020 年

～秋田港北防波堤が本格開放～

8月8日秋田港外港地区北防波堤の釣り場開放が行われました。

前日にはオープニングセレモニーが開催され、秋田市長をはじめとしたご関係の皆様、約30名がご出席致しました。

開放当日は不安定な天候にも関わらず、多くの釣り人が早朝より駆けつけ釣りを楽しました。

長年にわたり閉鎖されていた秋田港北防波堤が管理された安全な釣り場として生まれ変わりました。

【オープニングセレモニー】



『(公財)日本釣振興会 水際線有効活用委員会 岡田信義 委員長』



『(一社)秋田港有効利活用協会 佐々木清治 副会長』

【(一社)秋田港有効利活用協会 管理棟】



ここで受付等を行い釣り場に向かいます。
閉鎖基準に基づき釣り場が危険な場合は閉鎖致します。



【オープン初日風景】



「多くの方にご来場いただき、天候が悪い中、とても賑わいをみせています。」

【オープン初日風景】



「釣果も良く、大変賑わっておりました。」

未来へ残したい美しい地球の つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

ア
 ING co.,
 (株)アイビック
 (有)アイビーライン
 アキレス(株)
 (有)アクティブ
 アサヒレジャー(株)
 アチック
 (株)ア・ネットコトブキヤ
 (株)アピア
 (株)アムズデザイン
 (有)アリゲーター技研
 (株)アングラース
 (有)アングル
 (株)イシグロ
 (有)イシナダ釣工業
 (株)issei
 INFINITE SEEDS MAKERS(株)
 ヴァンフック(株)
 (株)ウィング
 植田漁具(株)
 (株)ウォーターハウス
 (有)ウォーターランド
 (株)魚矢
 (株)宇崎日新
 ウチダトレーディング・モリックスジャパン
 Woodream(ヒットコンポジット(株))
 (株)エイチ・エー・エル
 (株)エイテック
 (株)E S T A T E
 NPO法人ジャパンゲームフィッシュ協会
 (株)エパーグリーンインターナショナル
 エフ・ケイ
 (有)エムワントレーディング
 O S G S
 (有)オー・エス・ピー
 オーシャンフリース(株)
 (株)オーナーばり
 (株)オーパデザイン
 (株)オオモリ
 (株)OKUMAN
 (有)オジーズ
 (株)小野由
 (株)オフィスアクセル
 (有)オフィス・ユーカリ

(株)オリムピック
 (株)オンスタックル
カ
 (株)鶴祥
 景山産業(株)
 (株)カズマーク
 (株)カツイチ
 (有)加藤精工
 カハラジャパン(株)
 (有)カビィ
 (株)がまかつ
 (有)カラズインターナショナル
 (株)川せみ針
 (有)ガンクラフト
 (有)関門工業
 (株)キサカ
 (株)キザクラ
 (株)K I L L E R H E A T
 金鯰
 (株)キーストン
 クオリティライフ
 (株)クリーブラッツ
 (株)Grayhound
 クレハ合織(株)
 (株)クロノコーポレーション
 グローブライド(株)
 (株)KIOB
 (株)ケイテック
 (株)ゲインコーポレーション
 (株)ケーター関東
 ゲーリーインターナショナル(株)
 ケンインターナショナル(株)
 (株)剛樹
 (株)ゴーセン
 (一社) KONI
 (株)コヒナタ

サ
 (有)財津釣具
 (有)サウスウィンド
 栄通商(株)
 櫻井釣漁具(株)
 (株)ささめ針
 (株)ザップ
 (有)サニー商事
 サポートエンジニアリング フラー

サンヨーナイロン(株)
 (株)サンライン
 (株)3 4
 THE OWL GENE LURE'S
 (株)ジークラック
 (株)シーフロアコントロール
 (株)シマノ
 (株)清水
 (株)下田漁具
 (株)ジャクソン
 (株)ジャッカル
 (株)ジャンプライズ
 (株)上州屋
 skillful
 (株)スズミエンタープライズ
 スタジオディーピーアイ(株)
 スターンキーパー(株)
 スティールハント
 (株)スナガ
 (株)スーパー・ビー
 (株)スポーツライフプラネッツ
 (株)スミス
 征興産業(株)
 (株)清光商店
 (株)ゼニス
 (株)双進

タ
 第一精工(株)
 ダイトウブク(株)
 大同(株)
 大同石油(株)
 太陽産業(株)
 (株)ダイレイ
 タカ産業(株)
 高階救命器具(株)
 (株)タカタ
 (株)タカミヤ
 (株)タックルハウス
 (株)達人
 谷山商事(株)
 (株)タネ・マキ
 (株)ダミキジャパン
 (株)ダン
 痴虫
 中央漁具(株)

ために 今 私たちは行動します

259社・団体参加(2021年3月31日現在 50音順)

(株)津田商会
(株)ツネミ
(株)釣研
つりー(株)
(株)DRT
(株)ティムコ
T.H. タックル
D-CLAW
(株)DSTYLE
(株)ディーパース・ファクトリー
(株)テクノス
(株)デプス
(株)デュオ
(株)天龍
(株)トアルソン
(株)トゥームストーン
東邦産業(株)
東レ・モノフィラメント(株)
(有)トオヤ
(株)土肥富
(株)TRYALL
DRANCKRAZY(株)
DreemUp

ナ
(株)内外出版社
(株)ナカジマ
ニッコー化成(株)
(株)NOIKE
ハ
(株)ハイテックボート
ハイドアップ(有)
(株)バスディジャパン
バスデイ(株)
(株)林釣漁具製作所
(株)ハヤブサ
はり秀(株)
(株)ハリミツ
(有)HMKL
HAND MADE LURE HIRO
(株)パームス
(株)ビーエムオージャパン
ビジュアライズイメージ(株)
ピュア・フィッシング・ジャパン(株)
兵庫通商(株)
(有)ヒロカコーポレーション

フィッシュ・アンド・ハート(株)
Fishman(株)アレア
FIELD BACK
プエブロ(株)
(株)フォレスト
FOLLOW
富士工業(株)
富士灯器(株)
(株)フジノライン
(株)フジワラ
(株)藤原辰次商店
(株)ブリーデン
フルシロプロダクトデザイン
ブルーブルー(株)
(株)ブレイズアイ
プロズワン
(株)プロックス
ベイトブレス
BeveL
(株)ベルモント
(株)北摂マリン
Bottomup(株)
BOREAS
(株)ボンバダアグア

マ
(株)マガジン・マガジン
マルキュー(株)
丸米商事(株)
(株)マルシン漁具
MARUTE
(株)まるふじ
mibro
(株)ミヤマエ
(株)ムカイフィッシング
(株)名光通信社
明邦化学工業(株)
(有)メガテック
メガバス(株)
メジャークラフト(株)
(株)目探
moriken speed bite
(株)もりげん
(株)モーリス
ヤ
(株)ヤマイ

山田電器工業(株)
山豊テグス(株)
山本光学(株)
(株)ヤマリア
(株)ヤリエ
ユニチカ(株)
(株)ヨコハマ
(有)よつあみ
ラ
(株)ラインシステム
(有)ラガチャイナ
落花生
(株)ラッキークラフト
Rattytwister
ラパラ・ジャパン(株)
REALS
(株)リガーレ
(株)リコーサーバンス
(株)リチャーズ
リップラップ
リトルジャック(株)
(有)リトルプレゼンツ
(株)リプレイ
リミット
lure angle HAMA
ルアーショップ アンドウ
(株)ルミカ
+Rooms'
RAID JAPAN(株)
(株)レイン
LEGAME(レガメ)
レジットデザイン(株)
LESS is MORE
(有)ロデオクラフト
ワ
WILDFINS
(株)脇漁具製作所
(株)和田製作所
(株)ワトスファクトリ
(株)ワールドスポーツ

2020 年度事業収支報告書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
【収入の部】		
(1) シール売上収入		
環境・美化シール販売収入	3,000,000	1,432,200
商標使用料収入	238,000,000	293,670,962
シール売上収入等計	241,000,000	295,103,162
(2) 環境保全協力金収入（会計間振替）		
釣竿を除く商品× 2/10000	15,800,000	17,329,846
釣竿× 2/10000	4,300,000	4,277,807
(2) 環境協力金収入	500,000	0
環境保全協力金収入等計	20,600,000	21,607,653
収入合計	261,600,000	316,710,815
【支出の部】		
I 事業活動費支出		
(1) 水中清掃事業費支出		
水中清掃業務費支出（プロダイバー）	95,000,000	69,931,634
水中清掃業務委託費支出（日釣振）	5,000,000	3,224,091
水中清掃事業費支出計	100,000,000	73,155,725
(2) 陸上清掃事業費支出		
陸上清掃事業費支出（LOVE BLUE 助成）	15,000,000	15,000,000
陸上清掃事業費支出計	15,000,000	15,000,000
(3) 放流事業費支出		
放流事業費支出	69,000,000	68,091,353
放流業務委託費支出（日釣振）	18,000,000	18,779,180
放流事業費支出計	87,000,000	86,870,533
(4) 釣り場拡大事業費支出		
釣り場拡大事業費支出	17,000,000	12,488,741
釣り場拡大業務委託費支出（日釣振）	17,000,000	17,996,729
釣り場拡大事業費支出計	34,000,000	30,485,470
(5) 予備費支出		
予備費支出計	6,000,000	0
事業費支出計	242,000,000	205,511,728
事業費比率	92.5%	64.9%

科 目	予算額	決算額
(6) 運営経費支出		
LOVE BLUE 人件費支出	26,075,612	22,092,763
環境・美化シール印刷費支出	350,000	0
旅費交通費支出	7,000,000	2,762,986
通信運搬費支出	1,200,000	722,213
印刷製本資料作成費支出	4,000,000	2,591,090
宣伝費支出	25,000,000	18,307,330
租税公課支出	3,000,000	6,185,721
会議費支出	500,000	3,000
支払手数料支出	100,000	25,960
振込手数料支出	50,000	79,970
諸謝金支出	200,000	286,211
消耗品支出	300,000	4,072
雑費支出	150,000	756
法定福利費支出（科目追記）	3,530,581	3,106,636
運営経費支出計	71,456,193	56,168,708
事業活動費支出合計	313,456,193	261,680,436
事業費比率	119.8%	82.6%
事業活動収支差額	-51,856,193	55,030,379
Ⅱ 振替経費支出		
振替人件費支出	1,895,769	1,500,455
その他一般管理費支出	2,129,466	2,304,282
F 会館維持管理費支出	195,320	104,900
法人税等	0	0
振替経費支出計	4,220,555	3,909,637
【投資活動収支の部】		
(1) 投資活動収入		
投資活動収入計	0	0
(2) 投資活動支出		
投資活動支出計	676,932	605,223
投資活動収支差額	-676,932	-605,223
当期収支差額	-56,753,680	51,120,742
前期繰越収支差額	144,863,054	144,863,054
次期繰越収支差額	88,109,374	195,983,796

コロナ禍と釣り～非接触型レクリエーションの可能性～

長引くコロナ禍は、私たちの生活や経済活動を大きく変えています。コロナ禍への対策は、人と人との接触を避けることが基本です。そのため企業では、在宅勤務が奨励され、大学でも講義、学内会議等のすべてがオンライン化し、小中学校や高校などでもオンライン授業が広がっています。

さらにオフィスだけでなく、工場など生産・物流の現場でも対面接触を避けるため、デジタル技術を通じて生産・物流過程を無人でコントロールし、効率を引き上げる試みが加速しています。対面接触を避けた経済活動を可能にする「非接触経済」ともいうべき、新しい経済システムへの移行が始まっているのです。

その一方、コロナ禍でレジャーが限られる中、屋外で「密」を回避できるレクリエーションである釣りがブームになっているとの報道もあります。コロナ禍で様々な活動の自粛を強いられているからこそ、「屋外に出て自然の中で遊びたい」というアウトドアレジャーへの渴望が高まっているのです。その結果、“三密を避ける”非接触型で、人と距離を取りながら遊ぶことができる“釣り”が新たなブームになっているようです。

このブームの中で、釣り人をはじめ、釣り界全体が LOVE BLUE 事業を通じて、より一層、地球環境保全活動へ注力しながら、これまで以上に釣りのマナー意識を向上させることで、新たな社会構造におけるレクリエーションとして発展されることを願っています。

感染拡大の状況をしっかり見極め、必要な対策をとり、釣り場環境を保護するためのルールをしっかりと守った上で可能な限り釣りを楽しみたいものです。連綿と受け継がれてきた釣り文化の未来は釣り人一人ひとりの良識にかかっています。



京都大学名誉教授
松下和夫

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報(水中クリーンアップ活動等)を配信しています。

公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。

ぜひご覧ください。



FACEBOOK LOVEBLUE

検索

LOVE BLUE
FACEBOOK



LOVEBLUE

検索

LOVE BLUE HP
<http://www.loveblue.jp/>



編集協力：公益財団法人日本釣振興会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館3階
TEL：03-3555-3232 FAX：03-5542-2941

編集・発行：一般社団法人日本釣用品工業会
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5階
TEL：03-3555-0101 FAX：03-5542-2929 E-mail：info-loveblue@jaftma.or.jp

UD
FONT
by MORISAWA

